

# 平成 2 1 年度事業報告

(平成 21 年 4 月 1 日 - 平成 22 年 3 月 31 日)

## I. 会員数 (平成 22 年 3 月 31 日)

( 1 ) 名誉会員	5 名
( 2 ) 正会員	
平成 21 年 3 月 31 日会員数	1,386 名
平成 21 年度新入会員数	91 名
平成 21 年度退会者数	107 名
内訳    希望退会者	106 名
物故者	1 名
正会員現在数	1,370 名 (16 名減)
( 3 ) 維持会員	
平成 21 年 3 月 31 日維持会員数	103 社
平成 21 年度入会社数	0 社
平成 21 年度退会社数	3 社
維持会員現在数	100 社 (3 社減)

## II. 機関誌送本および販売数 (各号につき)

( 1 ) 送本数	会員区分	送本数
国内	名誉会員	5 冊
	正会員	1,094 冊
	維持会員	254 冊
国外	正会員	7 冊
	小計	1,360 冊
( 2 ) 販売数		65 冊
( 3 ) 贈呈数	箇所数	送本数
国内	11	11 冊
国外	54	54 冊
	小計	65 冊
合計機関誌送本数		1,490 冊
( 4 ) その他		

機関誌を広告代理店に提供、バックナンバーとして販売。残部は在庫。

### III. 第56回通常総会

開催年月日：平成21年5月15日

開催場所：大宮ソニックシティ

### IV. 理事会、評議員会

#### (1) 理事会 3回開催

定例 開催年月日：平成21年5月13日

開催場所：大宮ソニックシティ

定例 開催年月日：平成21年11月18日

開催場所：タワーホール船堀

臨時 開催年月日：平成21年10月2日

開催場所：東京大学農学部

#### (2) 評議員会 1回開催

開催年月日：平成21年5月13日

開催場所：大宮ソニックシティ

### V. 定期学術集会の開催

第56回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催した。

会期：平成21年5月14日(木)～16日(土)

会場：大宮ソニックシティ

会長：岩倉洋一郎(東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター)

参加者：約1,600名

### VI. 定期刊行物の発行

「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に配布した。

発行年月日	巻	号
平成21年4月1日	58	2
平成21年4月1日	58	3(サプリメント号)
平成21年7月1日	58	4
平成21年10月1日	58	5
平成22年1月1日	59	1

## VII. 研究の奨励、業績の表彰

( 1 ) 第 21 回学会賞受賞者を表彰した。

1 ) 功労賞 ( 1 名 )

豊田 裕

2 ) 安東・田嶋賞 ( 1 名 )

松本耕三

「ラットの先駆的遺伝子マーカー開発と疾患モデルラットの遺伝解析研究」

3 ) 奨励賞 ( 2 名 )

越後貫成美

「実験動物を用いた顕微授精技術の応用」

林元展人

「*Pasteurella pneumotropica* および *Bordetella hinzii* の実験動物に対する病原性とその検査法に関する研究」

4 ) 2008 年 Experimental Animals 最優秀論文賞

松井謙一、太田 毅、小田知洋、笹瀬智彦、上田順久、美谷島克宏、益山 拓、篠原雅巳、松下睦佳

「SDT ( Spontaneously Diabetic Torii ) fatty ラットにおける糖尿病性合併症」

( 2 ) 2008 年日本実験動物学会国際賞を表彰した。

受賞者 ( 5 名 )

シンガポール : Keefe Chng

タイ : Shutipen Buranasinsup

中国 : Jialin Liu

フィリピン : Plebeian B Medina

台湾 : Yu-Chung Chang

( 3 ) 第 22 回学会賞受賞者を選出した。

1 ) 功労賞 ( 1 名 )

倉林 譲

2 ) 安東・田嶋賞 ( 1 名 )

鳥居隆三

「実験動物としての霊長類への発生工学的的手法導入による室内計画的人工繁殖と再生医療研究への活用」

3 ) 奨励賞 ( 2 名 )

高田豊行

「多因子形質解析とその実験モデルマウスの開発」

橋本晴夫

「糖尿病のトランスレーショナル研究支援のための IRS-2 ノックアウトマウスの  
系統化と特性検索に関する研究」

4) 2009 年 Experimental Animals 最優秀論文賞

目加田和之、阿部訓也、村上垂弓、中村哲枝、中田初美、森脇和郎、小幡裕一、  
吉木 淳

「C57BL/6 亜系統間の遺伝的相違について」

(4) 2009 年日本実験動物学会国際賞の選考を行った。

受賞者(6名)

シンガポール	: Judy C. G. SNG
中国	: Xiao-yang Zhao
台湾	: Wei-Chun Li
インド	: V. S. Harikrishnan
韓国	: Jong-Hwan Park
フィリピン	: Eleonor F. Avenido

#### VIII. 研究・調査活動

編集委員会、学術集会委員会、財務特別委員会、疾患モデル委員会、国際交流委員会、  
広報委員会、動物福祉・倫理委員会、定款・細則・規程等検討委員会、マウス・ラット  
感染対策委員会、教育・研修ワーキンググループ、動物アレルギー検討ワーキンググル  
ープ、新公益法人化問題検討ワーキンググループを設置し、活動を行った。

#### IX. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議の活動に協力した。
- (2) 社団法人日本実験動物協会、日本実験動物技術者協会、日本実験動物環境研究会お  
よびその他の国内外関連学会・協会の活動に協力した。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) の事業に協力した。
- (4) アジア実験動物学会連合 (AFLAS) の事業に協力した。
- (5) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流をした。
- (6) 国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会等の活動に協力  
した。
- (7) 財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力した。

#### X. その他

- (1) 平成 21 年度維持会員懇談会を実施した。(財務特別委員会担当)
- (2) 第 2 回疾患モデルシンポジウムを開催した。(疾患モデル委員会担当)

( 3 ) 第 56 回総会期間中に 3 つの LAS セミナーを開催した。( 教育・研修ワーキンググループ担当 )

命名規約

微生物モニタリング

胚・精子の凍結保存

( 4 ) 実験動物の飼育状況に関する調査を行った。( 常務理事会担当 )

( 5 ) 公益法人化について検討した。( 新公益法人化問題検討ワーキンググループ担当 )